

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

秋田県大仙市 大曲病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	精神科病院	精神病院	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	1	-	-	-
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
76,537	5,857	非該当	非該当	15:1

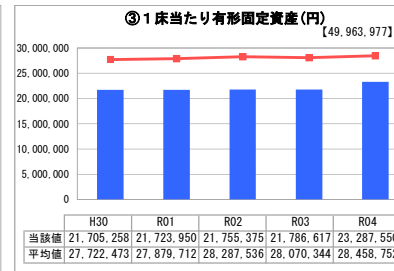
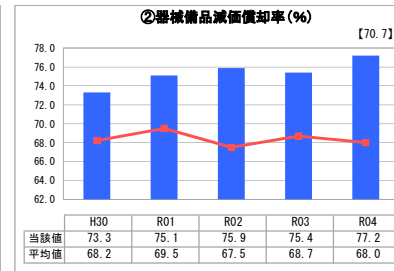
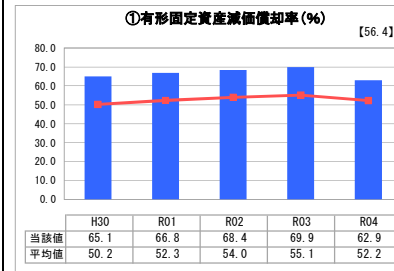
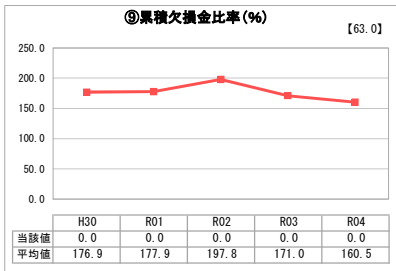
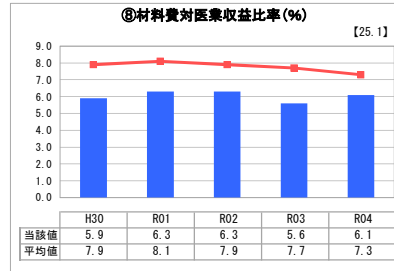
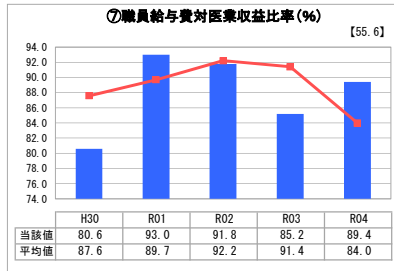
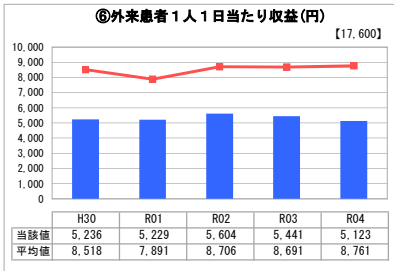
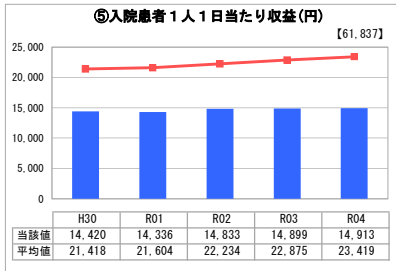
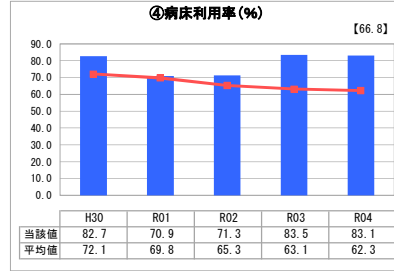
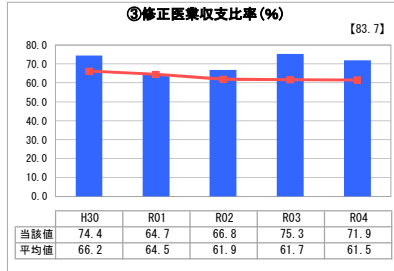
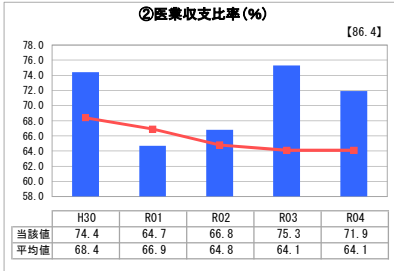
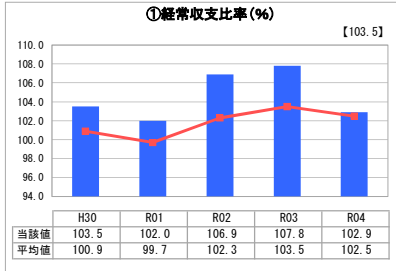
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
120	-	120
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）	年度	年度	年度
機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	-	-	-
地方独立行政法人化	-	-	-
指定管理者制度導入	-	-	-

## I 地域において担っている役割

当院は、大仙・美郷を主な圏域とする全国でも稀な精神科単科の市立病院である。  
当院では、高齢化に伴い認知症への医療需要が増加しており、当院では精神疾患を持つ患者の地域生活やその家族を支える医療を確保するため、医療機関相互の連携を行っている。  
また、医療を必要とする人と医療を結び付けるための医療・福祉・行政のネットワーク形成に積極的に関与し、専門病院としての立場から地域医療の基盤を支えている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

一般会計から普通交付税及び特別交付税の基準内繰入を受け、経常収支はかろうじて黒字を維持しているが医療収支は赤字であり、医療収益に対する職員給与費が99.4%と平均を上回り経営を圧迫している状態である。病床利用率は平均値を超えているが、地域の人口減少等により、入院患者数及び外来患者数は減少傾向にある。また、入院患者及び外来患者1人1日当たりの収益が類似病院の6割程度と極端に低くあり、収益性の向上が課題となっている。

### 2. 老朽化の状況について

平成8年12月の設置から25年以上経過し、有形固定資産減価償却費率や器械備品減価却率など平均を大きく上回り施設の老朽化が顕著となっている。そのため、令和3年度から4年度の2か年計画で空調設備改修工事を完了し、令和5年度以降も火災報知設備の更新及び屋上の防水シート張替え工事を予定している。大規模改修工事が続くため、これまで以上に財源の確保が重要となるが、今後も計画的に施設設備の更新を行い、施設設備の維持を図っていく。

### 全体総括

定期的な市内の福祉施設と認知症関連の勉強会を開催するなど、各関係機関との連携に努めており、平成30年度からは大仙市の福祉事業である認知症初期集中支援推進事業に参画している。また、地域の総合病院への診療応援や、訪問看護などのアウトリーチ事業などにも力を入れている。公立病院経営強化プランでは医療収益の増加を目標とし、新規患者診療枠の拡大による診療待機日数の削減や可能な施設基準の取得に取り組みながら、退院支援により在院日数の短縮などによる効率のよい収益構造を目指し、持続可能な精神医療提供体制を整え、公立病院として地域住民の皆様のご健康と福祉に貢献し、地域生活の基盤を支える、地域になくてはならない病院を目指していく。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。